

2015年12月1日

各位

コトブキシーティング株式会社
昭和リース株式会社

宿泊需給への対応を目的とした業務提携契約の締結について

コトブキシーティング株式会社(東京都千代田区/代表取締役社長 深澤 重幸)と昭和リース株式会社(代表取締役社長 土屋 明正)は、10月26日付で業務提携契約を締結し、昨今のインバウンド需要の中でも喫緊の課題となっている宿泊需給への取り組みを、共同で推進してまいります。

記

1. 提携の概要

訪日外国人旅行者の増加や、国内景況感の回復等に伴い、現在、大都市圏を中心に宿泊施設不足の問題が顕在化しています。ビジネスホテルの建設については今後も相当数が計画されているものの、2020年の東京オリンピックに代表されるイベント特需もあることから、観光地や都市圏における宿泊需給は一層逼迫すると予想されております。

一方で建設資材の価格上昇や人材不足、イベント特需後の急速な需要減少への懸念等から、従来型ホテルの新規投資には慎重な姿勢も窺え、また、既存施設の宿泊料金高騰に伴い、従来型ホテルに拘らない安価での宿泊が可能な多様な宿泊施設の供給も望まれています。

そこで今般、コトブキシーティングと昭和リースは業務提携を行い、コトブキシーティング製のスリープカプセルの普及を共同で推進することにより、それらの課題・ニーズの解消を図ってまいります。

コトブキシーティングの最新スリープカプセル「SPACE-D」シリーズ(写真)は、デザイン、調度、遮音性などにおいて、従来のカプセルホテルのイメージを覆す画期的な製品です。照明にはLEDを採用し、USB給電も確保されているなど、居室内の環境についても従来製品と比して飛躍的に改善しています。

設置や原状回復が容易な点も特徴であり、既存カプセルホテルのリニューアルはもとより、ビジネスホテルの客室の一部カプセル化、遊休地や駐車場への一時的な設置、事務所や倉庫の簡易宿所へのリノベーションといったケースにも広く対応可能です。

昭和リースは、同製品導入時の様々なファイナンスニーズに対し、ソリューションをご提供いたします。宿泊業のお客様のみならず、異業種のお客様の宿泊業への参入についても積極的にサポートすることで、柔軟かつタイムリーな形で宿泊地不足の解消を目指してまいります。



2. コトブキシーティングの概要

コトブキシーティングは「みんなが楽しめる場所をつくる」という創業以来の思いを原点に、一世紀以上にわたり、ホール・劇場・学校・スタジアム・映画館など、公共施設のイスを中心としたものづくりに誠実に取り組んでまいりました。研究機関や産学とも連携の上、プランニングから設計、製造、メンテナンス、リニューアルに至るまで、誰もが楽に安全に永く使えるユニバーサルデザインを徹底して探求しております。

「公共」を担う立場として、社会的なニーズをふまえた製品開発にも力を入れており、本件「スリープカプセル」もその一環となります。

3. 昭和リースの概要

昭和リースは 1969 年の創業以来、総合リース会社として全国の多くのお客様にご愛顧いただいております。近年では、各分野において高い専門性を持つ企業とのアライアンスにより、分野や市場に特化した営業を推進しています。

また、日本経済の一層の活性化と、社会的課題の解決に寄与すべく、今後成長が見込まれる分野の開拓や、マーケット拡大のための商品・サービスの開発にも注力しております。

本提携を機に、宿泊業をはじめとするインバウンド需要に対するファイナンス支援について、積極的に取り組んでまいります。

以上

【本件に関するお問い合わせ】

コトブキシーティング株式会社 カプセル営業部 電話：03-5280-5606

昭和リース株式会社 営業推進部 電話：03-4284-1250